

**アイホール**

伊丹市伊丹2-4-1  
TEL: 0727-82-2000

●アイホールダンスコレクションVol.20  
山崎広太・rosyCO.,ダンス公演  
「PASARBARU」  
「フォアグラ」(ハイライトシーン)

振付/山崎広太  
『OTO』  
振付/安藤洋子



日本のコンテンポラリーダンス界を代表する山崎広太が、新作を含むオムニバス作品で、アイホールに初登場。時代を挑発し続ける彼が、ダンスの醍醐味を存分に堪能させてくれます。また、ダンス以外の公演活動も積極的にを行う若手実力派No.1・安藤洋子の関西初登場も話題です。

11月25日(土) 19:00  
26日(日) 15:00  
一般3000円(3500円)  
学生2500円(前売のみ)

●提携公演  
清流劇場「夕鳥ののむ水」  
作・演出/田中孝弥

12月1日(金) 19:30  
2日(土) 15:00/19:30  
3日(日) 14:00/17:30  
一般2700円(3000円)  
ペアチケット5000円



**ラスタホール**

伊丹市南野2-3-25  
TEL: 0727-81-8877

ラスタ映画倶楽部  
小津安二郎名作選  
(平成12年度優秀映画鑑賞推進事業)

静かなショットとゆるやかなテンポで庶民の日常生活を描き、その構図の確かさと格調の高さで他の追随を許さない日本映画界の巨匠、小津安二郎監督の作品を上映します。「親と子の成長を通じて、日本の家族制度がどう崩壊するかを描きかけた」と監督自らが語る「東京物語」、初老の父と独身の娘の関係を描いた「秋刀魚の味」、どちらも端正な小津監督の作風により、キネマ旬報上位を飾っています。この機会にどうぞお見逃しなく。



	10:00~	14:00~	18:00~
10月21日(土)	東京物語	秋刀魚の味	東京物語
10月22日(日)	秋刀魚の味	東京物語	

500円 ※各回入替制

●提携公演  
三角フラスコ  
『惑星のプロペラ』(仮題)

作・演出/花田明子  
12月8日(金) 19:30  
9日(土) 15:00/19:30  
10日(日) 15:00  
一般2000円(2300円)  
高校生以下  
(劇団のみ販売)1200円



**伊丹アイフォニックホール**

伊丹市宮ノ前1-3-30  
TEL: 0727-80-2110

伊丹市制60周年記念事業  
伊丹シティフィルハーモニー  
名曲コンサートvol.10

「プロのもつ醍醐味とアマチュアならではの熱気が融合した、地域密着型のオーケストラ」として伊丹市内を中心に積極的に活動している、伊丹シティフィルハーモニー。選りすぐったクラシックの「名曲」をお送りする名曲コンサートも10回目を数えました。今回は、オーディションによって選ばれたピアノソリストによるベートーヴェン作曲ピアノ協奏曲第5番「皇帝」をはじめ、リムスキー=コルサコフ作曲交響組曲「シエラザード」op.35ほかをお送りいたします。普通の練習で気心の知れた、息のあったオーケストラにより、聴きごたえのある素晴らしい演奏が期待されます。

指揮:加藤完二  
曲目:L.v.ベートーヴェン作曲  
ピアノ協奏曲第5番変ホ長調  
「皇帝」op.73  
リムスキー=コルサコフ作曲  
交響組曲「シエラザード」op.35

1月21日(日) 14:00  
一般1000円 高校生以下500円  
※全席自由  
※未就学児童のご入場はご遠慮下さい。

**いたみホール**

伊丹市宮ノ前1-1-3  
TEL: 0727-78-8788

市制60周年記念  
第九コンサート

伊丹市は11月10日(金)に市制60周年を迎えます。この記念すべき日を祝福するため、市民公募をした約200名の合唱団と関西を中心に活躍中の実力派ソリストが高らかに歓喜の歌をうたい上げます。管弦楽は加藤完二氏率いる伊丹シティフィルハーモニーが担当。21世紀への希望をのせて演奏します。  
指揮:加藤完二

**私・空・感** another time another place

「みちくさのすすめ」  
青木 宏子/創作玩具作家・まんまる工房代表  
子どもの頃、習い事のある日の帰り道、いつもとは違う道を行こう!と、やんちゃなことを思いつき、行く先もわからないままどどん道歩いてみると、よく知っている神社の裏口に出た。神社は、ちょうど夏祭りの準備中で、まだ骨組みだけの屋台ではそれぞれの店の商品を台に並べ始めていた。一番のめざらしかったのは、金魚がパンパンに入ったひとかかえほどの大きな透明のビニール袋を置いていた屋台で、金魚が動くと袋もプリプリと動き、それが何とも言えずユーモラスで、それをジ〜ッと見ていると、よく日焼けしたおじさんが笑いながらその袋を開けて、ものすごい数の金魚たちをザザ〜ッと台の上に流し入れるところを披露してくれた。そんな子どもの頃のみちくさに魅了されてか、友人に言わせると、どうやら私は“人生の道”もわざわざ枝分かれしているジグザグなガタガタの道を好んで歩いているらしい。本人は大まじめでまっすぐ歩いているつもりなのだが…(笑)。でも、まっすぐな道だけを突き進んでいる人よりも、回り道や寄り道というみちくさを楽しんでいける人のほうが、人として強くあれるかもしれない…などと、たいして強くもないのに、自分で言い訳をしているが…。  
今の子どもたちは、みちくさを楽しんでいるのだろうか?



アイホール 伊丹市伊丹2-4-1 TEL: 0727-82-2000  
JR伊丹駅前 阪急伊丹駅東へ徒歩10分

伊丹アイフォニックホール 伊丹市宮ノ前1-3-30 TEL: 0727-80-2110  
阪急伊丹駅北へ徒歩4分 JR伊丹駅西へ徒歩7分

ラスタホール 伊丹市南野2-3-25 TEL: 0727-81-8877  
阪急福野駅西へ徒歩8分 阪急伊丹駅より伊丹市バス系統(37) 阪急塚口行 阪急神戸線塚口駅北側出口より伊丹市バス系統(37)阪急伊丹行ほか

いたみホール 伊丹市宮ノ前1-1-3 TEL: 0727-78-8788  
阪急伊丹駅北へ徒歩3分 JR伊丹駅西へ徒歩8分

ソリスト:井岡潤子(ソプラノ) 寺松光子(アルト) 西垣俊朗(テノール) 片桐直樹(バス)  
管弦楽:伊丹シティフィルハーモニー  
11月10日(金)19:00要整理券

田尻洋一 トーク&ピアノ  
クラシックが楽しくなる3つのお話  
「クラシックを気軽に楽しもう」をテーマに演奏と語りを交えたセミナー  
10月27日(金) 19:00~  
11月18日(土) 15:00~  
12月 8日(金) 19:00~  
チケット料金や販売場所など詳細はいたみホール0727-78-8788まで



アイテム'00 vol.13 (通巻16号)  
2000年10月1日発行  
発行●(財)伊丹市文化振興財団  
〒664-0895 伊丹市宮ノ前1-1-3  
TEL 0727-78-8788 FAX 0727-78-8585  
編集●アイテム編集委員会  
デザイン●AIRS  
※次号アイテムvol.14は2001年初めに発行予定

※イベントにより、未就学児童等の入場の制限がある場合がございますので、各ホールにお問い合わせ下さい。 ※文中の料金は、前売料金。( )内は当日料金です。

**item** アイテム'00 vol.13 文化情報紙 (財)伊丹市文化振興財団

**'00秋のイベント特集**

暑い日の続いた今年の夏も過ぎ、待ち焦がれた芸術の秋がやってきました。秋の夜長はしっかりと音楽を聴きたくなるもの。各ホールでも、いろんなタイプのコンサートを開催します。良い音楽に触れて秋を楽しみましょう。

**アイフォニック地球音楽シリーズNo.74**

“鹿対虎” 聖獣の競演  
伊丹アイフォニックホール

〈出演〉宮城県伝統芸能:  
清水目ハツ鹿踊/中新田火伏せの虎舞  
400年程前に創作された芸能「ハツ鹿踊」。伊達領内に住む獵師が8頭の鹿が連れだって面白く舞う様子にヒントをえて創作したとも伝えられています。鹿の装束を纏った8人の踊手が、太鼓を打ち鳴らし、歌い踊る様は壮観です。一方、「虎舞」の伝わる中新田地区は、早春より初夏にかけて北西の季節風が吹き荒れ、昔から大火になることもしばしばでした。そこで、人々が「雲は龍に従い、風は虎に従う」の故事にならって、虎舞を奉納し、風を鎮め火伏せを祈願したのが始まりといわれています。腹一杯に風をはらみながら高屋根に登り、太鼓や笛につれて舞い踊る虎舞の風趣はなかなかのものです。宮城県伝統芸能の聖獣「鹿と虎」の競演が実現するまたとない機会です。是非ご覧ください。



12月3日(日) 14:00  
一般3000円  
学生2000円  
(500円UP) ※全席自由  
※当公演に連動した講演があります。



阪神芸術祭参加事業  
東儀秀樹&イ・フィアミンギ  
〈ベルギー室内管弦楽団〉コンサート  
「サウンズ・オブ・サイレンス」  
いたみホール

いま世界中で静かなブームを巻き起こしている、室内オーケストラの最高峰、イ・フィアミンギが展開する新しいミュージック・エンターテインメント・マルチメディア・プロジェクト。ステージに直径10メートルにも達する半円形スクリーンを設置し、20名のオーケストラと8名のアカペラ、東儀秀樹の雅楽と舞、さらに美しい照明やスノーマシンまでも導入した入念な演出で、驚くべき幻想美を現出します。観客をまるで地球上どこにもない別世界へといざない、まぼろしをこの世のものとするかのようなスーパーコンサート。  
11月17日(金) 19:00  
全席指定  
SS席9000円(売切)  
S席7500円  
A席6000円



沢 知恵 ライブ  
金子みすゞを唄う  
ラスタホール

かつてはFM802でDJを務め、関西にも縁深い歌手の沢知恵。魂を揺さぶるソウルミュージックから童謡に至るまで、才女と童女が共生しているような不思議な魅力を持つ彼女の歌声。そこには、聴く人を優しく包み込み、リラックスさせ、そして元気づける強さがあります。日本人の父、韓国人の母を持ち、日韓英の三カ国語を自在に操って唄う「国境の歌姫」は、国内のみならず韓国でも公演を行うなど幅広く活動しています。今回のライブでは、大正~昭和初期に若き童謡詩人の巨星といわれた、金子みすゞの詩を自らで曲を付けて弾き語ります。金子みすゞが表した世界はシンプルな言葉で綴りながらも果てしなく広く、そして深い。その直接的に、感覚に訴えかける言葉の世界に、沢知恵が真っ向からぶつかり、自分の中に溶け込ませ、歌として生み出しました。この作品は99年にアルバム「TOMOE MEETS MISUZU」に収録され、各方面で絶賛されました。時代をこえて優しくときに厳しく訴える言葉、説得力あるヴォーカルとオリジナリティー溢れるメロディーが織り成す「衝撃と癒しの世界」を味わってみてはいかがでしょうか。  
11月11日(土) 14:00  
一般2000円(2200円)  
高校生以下・60歳以上1800円(2000円)

アジアを知ろう vol. 3

## ポトゥア ～インド巻絵式紙芝居～

ラストホール

アジア各国の様々な生活・文化を紹介する「アジアを知ろう」の第3弾。今回は、全国で活躍している画家・東野健一さんが、インドに古くから伝わるポトゥア（巻絵式紙芝居）を上演します。ポトゥアはベンガル語で、「絵巻物師」の意。インドでは街角で絵巻物を見せながら、そこに描かれた神話や物語を話すのを仕事にしている「ポトゥア」と呼ばれる人たちがいます。東野さんは15年ほど前にポトゥアの原画に出会い、その魅力に取り付かれ、12年前からは自分で制作・上演を始め、近年では海



外を含めて年間百回をこえる公演を行っています。

墨を使って動物などが縦に描かれた巻紙を、豪快な語り口上で、物語の展開に従って巻き上げていきます。

その他会場内にインドの大小様々なポトゥア(紙芝居)も展示します。また、紙芝居の上演とともにインドの習慣や「ポトゥア」についてのお話もしていただきます。是非、お越しください。

展示期間

11月23日(祝)～27日(月)

9:00～21:00

\* 紙芝居上演は11月23日(祝)14:00

※日・祝・最終日は9:00～17:00まで

料金無料

1F・エントランスホールにて

## 古谷桂信写真展 『マヤに生きる人々～ 中米・グアテマラ～』

ラストホール

マヤ文明により世界的に知られる美しい火山国、中米・グアテマラ。1960年より始まった内戦による虐殺、そして政府軍の「反政府ゲリラ」掃討作戦。



その結果、先住民族であるマヤの人の多くは、生活の場を奪われました。内戦による苦難の中、自立の道を歩んだ

マヤの姿を追いつづけた、写真家古谷桂信(ふるや・けいしん)さんの写真を一挙展示します。是非、ご覧ください。

展示期間

12月13日(水)～18日(月)

9:00～21:00

※日・最終日は、9:00～17:00まで

料金無料

1F・エントランスホールにて

## 錦織健&スロヴァキア 室内オーケストラ

いたみホール

スロヴァキアの弦の名手たちによる名曲の花束!世界トップクラスの室内管弦楽団スロヴァキア室内オーケストラとソリスト錦織健による華やかなコンサート。自らヴァイオリンを手に演奏をリードする指揮者ボフダン・ヴァルハルの音楽は、まさに円熟の極み。弦楽器の国スロヴァキアの精鋭が織りなす珠玉のアンサンブルと、錦織健の輝かんばかりのテノールの歌声は、きっと観客の心を魅了してくれることでしょう。

1月28日(日)14:00

全席指定



SS席5000円  
S席 4000円  
A席 3500円  
B席 1500円  
プログラム

ヘンデル：歌劇「セルセ」より

「オンブラ・マイ・フ」

「メサイア」より

“人々よなぐさめなさい”

バッヘルベル：カノン

ヴィヴァルディ：ヴァイオリン協奏曲「四季」ほか

## AI・HALL リージョナルシアター

昨年、大好評だった「リージョナルシアターシリーズ」が今年も東京で開催されます。それに連動した「AI・HALLリージョナルシアター」も今年で2回目。地域を拠点に活動し、全国的にも注目を集めている劇団がアイホールに登場します。

### AI・HALL リージョナルシアター 劇団八時半(京都) 『素足の日記』

アイホール

作・演出・出演/鈴江俊郎  
岸田戯曲賞をはじめ、多くの戯曲賞を受賞している注目の劇作家・鈴江俊郎率いる劇団八時半がアイホールに初登場。社会問題を意識した上で、その中に生きる人間を丁寧に描き出す八時半が「恋」の戸惑いをどう描くのか期待されます。



10月27日(金)19:30

28日(土)15:00/19:30

29日(日)15:00

一般2300円(2500円) (全席自由)

### AI・HALL リージョナルシアター 弘前劇場(青森) 『冬の入口』

アイホール

作・演出/長谷川孝治  
第一回劇作家協会新人賞を受賞した、長谷川孝治率いる青森の劇団・弘前劇場が昨年に引き続き登場。今回は、家族関係がある種の危機にさらされている今をおかしく、やがて哀しく描いていきます。

11月4日(土)19:00

5日(日)14:00

一般2800円(3000円)

学生2000円(2500円)

高校生以下1500円

(整理番号付自由席)



## 剣幸プライベートアクト うた会～小さな旅立ち～

いたみホール



“騒がしい世の中、たくさんの情報などに流され、自分の安らぎの場を見失いがちな時代に、改めて優しさとは何かということを見つめたい”そんな思いから企画された「うた会」。パフォーマンズ・歌・朗読…月組トップの時代とは違う、素顔の剣幸が私達の心に優しく語りかけます。ひとときの時間旅行のなか、安らぎの空間に身をゆだねてみませんか。

10月5日(木)18:30

全席指定4700円

## 親子で遊ぼう!参加型イベント プレイ! Vol.6

アイホール



造形ワークショップ/河西進

パフォーマンス/岩下徹(山海塾)

慧奏(風の楽団WIND)

毎年恒例のアイホール前広場で催されているイベント「プレイ!」。広場を舞台に、世界的に有名な舞踏集団「山海塾」メンバーの岩下徹さんと、数々の民族楽器の奏者である慧奏さん(風の楽団WIND)が音楽とダンスのセッションを繰り広げます。アイホール前の広場に



## NOKKO SORA 宙TOUR 2000

いたみホール

1980年代、数々の伝説を残し解散した「レベッカ」のボーカリストNOKKO。「フレンズ」「ラズベリードリーム」など、きら星のごとく輝く名曲に思い入れのある人も多いのでは?子猫のようにしなやかで、ライオンのようにパワフル。今、最も熱い元祖ガールズポップの女王が繰り広げる圧倒的ソロコンサート。

11月4日(土)19:00

全席指定5250円

ぜひお立ち寄りください。

10月9日(祝)

10:00～16:00造形ワークショップ

16:00～17:00パフォーマンス

参加無料

(雨天の場合、アイホール内)

## AI・HALL SHOW CASE Vol.2

アイホール

演劇ファクトリーと劇作家を養成する伊丹想流私塾。この両講座の卒業生を中心にした創作劇の試演会を今年も実施します。

11月23日(祝)詳細未定



アイフォニック  
地球音楽シリーズ NO.73

## “インド・即興の至芸”

伊丹アイフォニックホール

〈出演〉ラジャスタン音楽舞踊団「ムサフィール」  
インド北西部の広大なタール砂漠の真ん中に、ラジャスタン州はあります。その厳しい自然条件にも関わらず、この地域ではたくさんの伝統芸能が発達してきました。その1つ、カースト制度による生まれながらの音楽家たちが継承してきた音楽は、静と動がいりまじった摩訶不思議な魅力を持っています。意外な展開を見せる音楽にのって繰り広げられる踊りも、この雰囲気を支える重要な要素です。独特の楽器も「一見の価値あり」といえるでしょう。今回登場する音楽舞踊団「ムサフィール」は、世界各国で高い評価を得ている音楽家集団です。ぜひこの機会にインドの伝統音楽を楽しんでください。

11月10日(金)19:00

一般3000円

学生2000円

(500円UP) ※全席自由

※当公演に連動した講演があります。

アイフォニック民族文化サロン  
“話題の地球儀” NO.85

## 「インドから日本へ… ぼく、がんばってます」

伊丹アイフォニックホール

〈講師〉サニー・フランシス  
(FM COCOLO ラジオパーソナリティ)

1986年、大阪で暮らす先輩の誘いでやって来た日本。半年ぐらいつもりが、今年でもう15年目になる。さか



れて一番困る質問は“インドと日本、どっちが好き?” 波瀾万丈のこれまでを披露。

10月30日(月)

※地球音楽シリーズNO.73と連動しています。

アイフォニック民族文化サロン  
“話題の地球儀” NO.86

## 「芸術語としての方言— 東北弁シェイクスピアの挑戦」

伊丹アイフォニックホール

〈講師〉下館和巳(東北学院大学教授/シェイクスピア・カンパニー主宰)

これまでの日本のシェイクスピアは、共通語で演じられてきた。しかし、この劇作家が伝えようとした登壇人物の感情や思想を、方言を日常語としている役者が語る時に、方言のほうがよりその役者の力を引き出すのではないだろうか。

11月27日(月)

※地球音楽シリーズNO.74と連動しています。



アイフォニック民族文化サロン  
“話題の地球儀” NO.87

## 『大道芸の音』

伊丹アイフォニックホール

〈講師〉西岡信雄(大阪音楽大学学長)

舞台芸能が誕生するまで“大道芸”という言葉はなかった。芸能のすべてが大道芸だったからである。そんな歴史の優位性を背景にしてか、いま再び、大道の芸人たちが世界で注目を集める。その“技”と“音”の妙演を各地から。

12月18日(月)

毎回19:00～20:30

1500円(要電話予約)

会場/小ホール1

